

「防犯意識を高めよう」

今、トップニュースは全国で発生している強盗事件だ。全国で20件以上発生し、30人以上の逮捕者を出している犯罪集団による連続強盗事件。指示役とされている「ルフィ」は、国外から指示を出していたという。ニュースによると、犯罪集団の実行役となる若者は、SNSを通じて集められている。「高収入」「報酬100万円」。明らかに怪しいふれこみなのに、深く物事を考えない、お金の欲しい若者たちがつられていったようだ。そこで使われるのは「テレグラム」という匿名性の強いSNSで、メッセージは暗号化でき、やり取りをしている当事者以外、運営すら見ることができないという。セキュリティー性能の高さゆえ犯罪に利用されやすい。そうして集められた複数の人間で急ごしらえのチームを作り、強盗に入る。バイト感覚で強盗、その代償は大きく、強盗罪の罰則では5年以上の有期懲役。強盗殺人であれば、無期懲役以上の刑に処せられる。

そんな事件が報道されると、必然的に防犯意識が高まる。ホームセンターなどでは1月中旬から防犯グッズの問い合わせが急増しているという。防犯に詳しい専門家の話によると、強盗事件に遭わないためには、私たちができる限りの対策をして、犯罪者が嫌う環境を整えることが重要になると話す。有効な対策としては、①窓ガラスに防犯フィルムを張る。②窓に補助錠をつける。③防犯砂利を敷きつめる。④センサー付きの照明を設置するなどを挙げている。

狛江の強盗殺人事件では、宅配を装った形跡があるという。その対策として、防犯に詳しい専門家は「ドアをいきなり開けないこと。一番いいのは、インターホンで対応してしまうこと」を挙げる。「『お荷物が届きました』と言われたら、『玄関先に置いといていただけませんか』と言えばいい。そうすれば、直接会うことはないのだから、安全性は高くなる（置き配だから絶対安心というわけではない）」と話す。人を疑うような世の中であってほしくはないのだが。しかし、自分や家族の身を守ることが大切だ。

1月31日 校長 鈴木 幸雄

◆問題 図のようなマス目の道があるとき、AからCを通り、Bに行く道は何通りありますか。

